

内容項目	B 友情、信頼	主題名	みんな なかよし
内容項目指導の観点	友達と仲良くし、助け合うこと。		

①授業者の価値観 ※ねらいとする道徳的価値（道徳の内容）について、学習指導要領に基づき明確な考えをもつ。

授業者が考える

B 友情、信頼

とは？※この1年間でこの学級の子どもたちに育てたいこと

互いを認め合い、協力し、助け合うことの良さを考えさせたい。

②児童観 ※授業者の明確な価値観に基づくこれまでの指導と子どもの学び、よさや課題を明確にし、本時の方向性を示す。

各教科等、さまざまな場面でこの視点で **友情、信頼** に関わる指導をする

各教科で指導したこと	普段のコミュニケーションの場面で、自分がされていやなことをしないで、相手の気持ちを考えて行動することを、その都度指導している。
------------	---

その結果、児童は



よさ	自分がされていやなことをする回数が、少し減った。
課題	指導の時はわかって、実際の場面で、自制できていない。行動の前に他人の気持ちを考えられない。

実態から求められること(ねらい)=ここが授業の中心 育てたいのは、判断力、**心情**、意欲と態度

自分の気持ちを伝え、〇〇されると嬉しい、〇〇されると悲しい、というような、相手の気持ちを知った上で、どう行動したら良いか、考えさせたい。

③教材観 ※授業者の明確な価値観、本時の方向性を基に、教材の活用の仕方を明らかに、教材は活用するもの

本時で扱う教材	およげないりすさん
実態から教材のどこを中心に考えさせるのか。	「だめ。」と言われたりりすさんは、どんな気持ちだったか。 実態からどのように教材を活用するか。 本時は、 <b>補充</b> 深化 統合 をねらう。

④教材分析表 ※中心発問から前後の発問を考える

本時の学習課題	みんな なかよし
---------	----------

価値理解：人間としてよりよく生きる上で大切なことを理解すること。 人間理解：道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さなども理解すること。

他者理解：道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は一つではない、多様であるということを前提として理解する。

中心発問	意図(他、人、価値理解)
②「だめ。」と言われたりりすさんはどんな気持ちだったか。(どうして?)	どんな理由でも、だめと拒否された時、言われたら悲しいと思う相手の気持ちを考えさせる。

発問	意図(他、人、価値理解)	発問	意図(他、人、価値理解)
①「ぼくも一緒に連れて行ってね。」と言った時のりすの気持ちはどんな気持ちだったか。	友達ということを押さえ、一緒に遊べることを楽しみにしている気持ちを知る。	③「りすさんも、一緒に島へ行こうよ。」と言った時のりすさんとみんな両方の気持ちを聞く。	協力する、助け合う時の気持ちや大切さを考えさせたい。

指導方法は 自我関与中心 問題解決的 **体験的**

指導の工夫	役割演技
-------	------